

1. まつかわ町民提案型まちづくり事業

- (1) ハードへの補助について、該当年度以降も活用されているかどうかの確認を行っているか。
- (2) 補助を行った団体の活動は定着しているか。(自主的な事業が定着しているか。)

2. ホームページや広報誌などの充実

- (1) HP はどのような項目で検索されるように意識されているか。(どういう人にアクセスしてほしいか。)
- (2) 「リンク」は広がっているか。
- (3) 双方向の情報伝達が当たり前になりつつある時代になっているが、町民のニーズ(どんな情報を求めているか)について、編集委員会はどう掴もうとしているか。

3. 企業誘地の推進

- (1) 19、20 年度と企業誘地実績がないにもかかわらず、総合評価が「拡大」となっている。実績ゼロの分析はどうなっているのか。「ねばならない」という精神論でよいのか。
- (2) 同じように実績ゼロをうけて、企業誘致サポーター制度に問題はないか。
- (3) 誘地活動の方法、予算の使い方が効率的と評価されるのだろうか。
- (4) 企業誘地は「工業」に限られているのか。第三次産業である物流・情報・サービスは考えられていないのか。
- (5) 現在、「開発取得したが未利用」が 2.9ha となっているが、いわゆる「塩漬け土地」の負担はどうなっているか。

4. まつかわの里に関して

- (1) 予算上の採算点は、温水プールとバッテリーカーで、それぞれの利用者数では何人か。
- (2) 「必要性が低い」と評価された事業を継続するだけの公共性の高さがあるのか。(「やめられない」というだけの消極的なものならば「先例主義」になる。)
- (3) 利用者拡大について「今後検討」というテンポとレベルでは「改善」とは言えない。